

幼稚園教諭等の資質向上に関する指標（参考資料）

栃木県教育委員会作成

とちぎの求める教師像

～ 自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～

人間性豊かで信頼される教師

幅広い視野と確かな指導力をもった教師

教育的愛情と使命感をもった教師

	採用時の姿	ステージⅠ （おおむね1年目～4年目）	ステージⅡ （おおむね5年目～10年目）	ステージⅢ （おおむね11年目～主任等）
全体指標	教員としての基礎・基本を理解するとともに、今後の教職生活全体を通して自主的に学び続けようとする強い意志をもっている。	教育活動に必要な基礎的な知識及び指導技術を習得し、組織の一員として行動する実践的指導力を身に付けるとともに、教師への使命感を高めている。	教育活動や学級経営等に関する専門的な知識及び指導技術を習得し、実践的指導力の向上を図るとともに組織的な視野に立った資質や指導力を身に付けている。	学年や分掌の運営等に関する知識及び技能を習得し、園運営のための企画力を有している。教育活動の実践力を一層高めるとともに、教職員の人材育成を行い、園長を補佐して教育目標の実現に向けた取組を、組織的に推進できる資質・能力を備えている。

○保育に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ （おおむね1年目～4年目）	ステージⅡ （おおむね5年目～10年目）	ステージⅢ （おおむね11年目～主任等）
保育全般		保育に関する基礎・基本を理解するとともに、幼児との信頼関係を築き、よりよい教育環境をつくろうとする強い意志をもっている。	保育の基礎・基本を身に付け、幼児理解に基づき、保育を行うことができるとともに、同僚からの助言等を得ながら、保育の工夫・改善を行っている。	一人一人の発達の特性に応じて、教材研究や環境の構成を工夫し、保育を行うとともに、保育に関する自己の課題をもち、研修等に参加するなどして資質の向上に努めながら、保育の工夫・改善を行っている。	保育を確実に身に付け、同僚への支援・助言を行い、協働的・組織的な保育体制づくりに貢献し、学年や園の課題解決のための企画力を身に付けている。
幼児理解	発達の理解	幼児の発達の過程や一人一人のよさや可能性を理解することの大切さを理解している。	幼児のおおよその発達について理解し、年齢に応じた保育を展開している。	幼児の発達について理解し、教育課程に基づき、年齢に応じた保育を展開している。	幼児の発達を見通して、教育課程に基づき、園全体の保育を調整し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識しながら保育を展開している。
	一人一人の幼児の発達の特性の理解		一人一人の幼児の発達の特性を理解し、一人一人に応じるための基本的な姿勢で保育に臨んでいる。	一人一人の幼児の発達の特性を深く理解し、その子らしさを捉えた柔軟な関わりをしている。	同僚のモデルとなり、一人一人の幼児の発達の特性に応じた適切な保育を展開している。
指導計画	教育要領等の理解	教育要領等を理解し、ねらいを明確にして教材研究に取り組み、指導計画を作成することの大切さを理解している。	教育要領等の内容を理解し、日案等の指導計画の作成の拠り所としている。	教育要領等の内容を理解し、日々の保育に生かしたり、課題解決の拠り所としたりしている。	教育要領等の内容を把握し、保育の課題等に対して、同僚に支援・助言をしている。
	指導計画の作成 ねらいの明確化		幼児の実態を踏まえて短期の指導計画（週案や日案）を作成し、ねらいを明確にして保育を展開している。	教育課程と長期の指導計画、さらには、短期の指導計画との関係を踏まえて、発達を見通した指導計画の作成ができる。	教育課程に基づき、学年間を見通した指導計画を作成するとともに、望ましい保育の実践及び省察を継続できるよう、同僚に支援・助言をしている。
	教材研究		幼児の発達に即した素材や道具、遊具等について教材研究をしている。	一人一人の幼児の育ちに応じた素材や道具、遊具等について教材研究をしたり、有効な活用について同僚と一緒に考えたりしている。	学級の状況や幼児の発達を踏まえた保育を展開するための教材について知識をもち、同僚に情報提供や支援・助言をしている。
指導の工夫	環境の構成・再構成	指導計画に基づき環境を構成したり、個に応じた適切な援助をしたりする等、指導を工夫することの大切さを理解している。	日案に基づき、幼児の動きや遊びの展開を予測して、環境を構成している。	幼児の動きや遊びの展開に応じて、環境を様々に工夫し、幼児に豊かな経験を保障している。	地域や園全体の物的・人的環境を視野に入れ、物や場を生かしたり、人材の活用を図ったりするなどの工夫をしている。
	援助		5領域の内容を踏まえながら、総合的な指導ができるとともに、一人一人の幼児の特性や発達に基づき、場や状況に応じて、個の思いに寄り添った援助をしている。	5領域の内容を踏まえた総合的な指導の中で、個と集団の育ちを意識して、一人一人の幼児の特性を捉え、それぞれの育ちに必要な援助をしている。	同僚のモデルとなったり、協働したりしながら、学びに向かう集団づくりを意識して、一人一人の幼児の特性を生かす援助をしている。
評価の工夫	記録の蓄積	記録に基づき、保育を工夫・改善する大切さを理解している。	指導計画等のねらいと照らし合わせ、幼児の姿や遊びの様子を記録している。	ねらいと照らし合わせた幼児の姿や遊びの記録を蓄積し、幼児の変容や成長について適切な評価をしている。	同僚が幼児の育ちや保育の実践について、適切な評価を蓄積できるよう、継続して支援・助言をしている。
	記録に基づく保育の工夫・改善		日々の記録等を基に、翌日の保育を計画したり、幼児への対応の参考にしたりする等、保育の実践に生かしている。	日々の記録等を基に、個と集団の育ちを意識して、保育を工夫・改善している。	日々の記録等の蓄積を基に、同僚と連携し、長期的な指導計画と照らし合わせながら、保育の工夫・改善を図っている。
特別な配慮や支援を必要とする 幼児への対応	知識や支援方法 保育上の支援の工夫	一人一人の幼児の実態に応じた配慮や支援、組織的な対応の必要性について理解している。	一人一人の幼児の実態に応じた配慮や支援についての基礎的知識を身に付け、同僚からの助言等を得ながら保育を工夫している。	一人一人の幼児の実態を深く理解し、その子らしさと思いを大切にた配慮や支援について、同僚と協働しながら取り組んでいる。	一人一人の幼児の実態に応じた適切な配慮や支援を組織的に行うとともに、同僚への適切な支援・助言を行っている。

○参画・経営に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～4年目)	ステージⅡ (おおむね5年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～主任等)
参画・経営全般		教育理念や教育目標を理解し、その実現に向けて組織の一員として働こうとする強い意志をもっている。	「報告・連絡・相談」を確実に行うとともに、教育目標や経営方針を理解し、自身の園務分掌や教育活動の中で実践しようとする意欲をもっている。	教育目標の実現に向けて、自身の役割を果たし、同僚の園務分掌や学級事務等の状況を把握し、共によりよい実践をしている。	教育目標の実現に向けて、園の課題を把握するとともに、解決に向けた具体的な取組を提案したり、実践したりしている。
園務分掌	園務分掌への取組	園務の一端を担い、組織の一員として働くことの大切さを理解している。	園務分掌について、責任をもち、迅速・正確な処理をしている。	園務分掌について、自身の役割を理解し、積極的に取り組んでいる。	自身の園務分掌について、工夫や改善をして積極的に取り組むとともに、同僚に適切な支援・助言を行っている。
ICTや情報・教育データの利活用	ICTの効果的な活用 教育データの適切な活用	幼児教育におけるICTの利活用場面やその方法を理解している。	園において日頃からICTを活用し、業務を効率的に行っている。	園においてICTや情報・教育データを有効に利活用することにより、同僚とともによりよい業務環境や保育環境を整えている。	園におけるICTや情報・教育データの利活用を中心的な立場で推進し、保育の質の向上や業務の効率化の視点で、よりよい利活用の在り方を提案している。
同僚性	学級経営	学級・学年経営について、組織的に対応することの大切さを理解している。	教育目標や幼児の実態を踏まえ、温かな雰囲気の中で良好な人間関係の構築と学級づくりに努めている。	教育目標や幼児の実態を踏まえ、幼児理解に基づく人間関係の構築と個を生かした学級づくりに努めている。	園全体を見通して、各学級の状況を把握し、実態や課題に応じて、同僚に適切な支援・助言を行っている。
	学年経営		学年主任や他の学級と協力しながら、学年経営に努めている。	他の学級や学年と協力しながら、学年経営に参画し、課題の解決に努めている。	教育目標や経営方針を踏まえた学年経営ができるよう、管理職と連携を図ったり、同僚と協力したりするなど努めている。
研修	園外研修	自己研鑽や組織力向上のための園内外の研修の大切さを理解している。	研修に進んで参加し、幼児教育に関する知識等を積極的に吸収するとともに、研修成果を管理職等に報告し、保育に生かしている。	研修に進んで参加し、幼児教育に関する知識等を吸収するとともに、研修成果を同僚と共有し、保育等に生かしている。	研修に進んで参加し、幼児教育の諸課題に関する知識等を吸収するとともに、研修成果を同僚と共有し、園の課題解決等に生かしている。
	園内研修		研修に意欲的に参加し、テーマや課題に対する自分の考えをもっている。	研修に意欲的に参加し、テーマや課題に対して自分の考えをもち、中心となって協議等を進めている。	園の諸課題等の解決に向け、管理職等と調整しながら、中心となって、研修を企画・立案・実施する等、コーディネートしている。
危機管理	安全管理 安全教育	日常的な危機管理の大切さを理解している。	危機管理を理解し、マニュアルに沿った環境を整えたり、遊びや生活の中で、安全や防災等を意識した指導を行ったりしている。	危機管理を理解し、マニュアルに沿った環境を整えたり、より安心、安全に生活できる環境を工夫したりする等の改善に努めている。	園全体の危機管理を理解し、安全教育や防災等に関する取組が適切に行われるよう努めている。
家庭・地域・関係機関との連携	保護者対応 子育ての支援	地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を担い、家庭・地域・関係機関等と連携することの大切さを理解している。	話しやすい雰囲気をつくり、カウンセリングマインドをもって保護者に接している。また、預かり保育の趣旨を理解し、担当者と連携し、幼児の育ちを支えている。	保護者との良好な関係を築き、相談に応じたり、専門性をもって対応をしたりしている。また、預かり保育の状況を踏まえ、幼児の育ちを支えている。	保護者との信頼関係の構築や保護者支援に関する中核的な立場を自覚し、役割を担っている。また、預かり保育の内容を提案するなどして、幼児の育ちを支えている。
	地域における幼児期の教育のセンターとしての役割		在園児の保護者や地域の子育て家庭に対して、温かい雰囲気で見守り、気持ちのよい対応をしている。	在園児の保護者や地域の子育て家庭に対して、親しみをもって接し、気持ちよく利用できる雰囲気づくりをしている。	地域の子育ての支援の中核として、在園児の保護者を含め、家庭・地域・関係機関等との連携・協力に努めている。
	小学校との連携		小学校との連携の必要性を理解し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を基に、子どもの交流活動や教職員の合同研修等に参加している。	小学校との連携の取組の中で、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を基に、幼児教育や子どもの育ち等について伝えながら、相互理解を深めている。	小学校との相互理解を深めるために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を基に、互恵性のある連携を進めている。

○意欲・態度に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ～ステージⅢ
教育的愛情・熱意	教育的愛情	教育的愛情と使命感をもった教師になるという強い意志をもっている。	幼児に教育的愛情をもって接している。
	信念、熱意		正しい信念のもと、熱意と使命感をもって仕事に取り組んでいる。
	人権尊重の精神		人権尊重の観点を重視し教育活動を行っている。
誠実・品位、公正、法令の遵守等	誠実・品位		礼儀正しい態度で誠実に仕事に取り組んでいる。
	公正		偏りがない見方・考え方で公正に勤務している。
	法令の遵守		職務・勤務の在り方を自覚し、厳正に勤務している。
責任感・寛容性・協調性等	責任感		責任をもって職務を遂行している。
	寛容性		異なる意見・立場を尊重し、職務にあたっている。
	協調性		同僚と協調して職務にあたっている。
研修に対する意欲			自己の能力向上のために、研究と修養に取り組んでいる。